

# ◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロンGT 微弾性-SR工法		
◇適用素地	既存塗膜 ルミフロン系フッ素樹脂塗料（躯体がサイディングボードの場合は除く）		
◇使用材料	下塗	ボンHBサーフェーサーR(W)	16.0 kg/缶
	中塗	ボンフロン水性GT(艶消し)	15.0 kg/缶
	上塗	ボンフロン水性GT-SR	15.0 kg/缶

工程	使用材料	調合 主剤：硬化剤	希釈率 (%)	標準所要量 <sup>注1</sup> (kg / m <sup>2</sup> )	塗 回数	塗装間隔(23℃)		施工方法
						工程内	工程間	
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>■旧塗膜に脆弱部分のある場合はサンダー・皮スキ・ケレン棒等を用いて除去し 下地調整材を用いて段差修正及び模様合わせを行ってください。</li> <li>■下地のクラック幅が0.3～0.5ミリの場合は、低圧エポキシ樹脂注入処理を行ってください。 0.5ミリ以上の場合は、Uカット→シール充填→埋め戻しの処理を行ってください。</li> <li>■高圧洗浄機を用いて、旧塗膜に付着している塵埃・汚れ等を水洗いしながら除去してください。</li> <li>■十分に乾燥の上、塗装工程を進めてください。</li> </ul>							
1	下塗	ボンHBサーフェーサーR(W)	-	清水 0 ~ 3 0.80~1.20 0.30~0.50	1	-	16h以上 3h以上	砂骨ローラー ウールローラー
2	中塗	ボンフロン水性GT(艶消し)	-	清水 0 ~ 5 0.13~0.16 0.15~0.18	1	-	4h以上	ローラー スプレー
3	上塗	ボンフロン水性GT-SR	-	清水 0 ~ 5 0.13~0.16 0.15~0.18	1	-	-	ローラー スプレー
合 計					3			

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80

注2) 前処理で既存塗膜を剥がし躯体素地が露出した場合やクラック補修等の下地調整でセメント系材料を使用した箇所はボンHBサーフェーサーRを塗布する前に、必ずボンカチオンプライマーを塗装してください。

<ボンカチオンプライマー> 塗布量/0.10~0.15kg/m<sup>2</sup> 塗布間隔/2時間